

セ タガヤ ボ ラ ン テ ィ ア ネ ッ ト ワ ー ク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発! ボランティア生活発見マガジン
<https://www.otagaisama.or.jp/>

2023.05 No.229

今月のトピック

- 特集 P.2-5
桜満開の世田谷で、
3年ぶりの「ふくしまっ子リフレッシュ」
- まちの市民力 P.6
みつけばハウス
- 世田谷ボランティア協会の取り組み P.7
トルコ南東部地震緊急支援募金活動報告
中学生にボランティアセミナーを実施しました
- ミニレポート P.11
下馬福祉工房 20周年フェス開催!

●イラストレーター さくらさくこ
世田谷に住み5年目。手習いで絵を描き始める。猫をよく描くが犬派です。ただいまシニアライフ満喫中です。

●わたしの世田谷
世田谷区はシニアに優しい。69歳から1年半くらい引きこもり気味でした。これではいけないと思った時、シニアにいつも語りかけてくれる世田谷がありました。世田谷区のことを知ろうとするアンテナがあると、世田谷がもっと楽しくなります。



特集

桜満開の世田谷で、 3年ぶりの「ふくしまっ子リフレッシュ」

早めに開花した桜がまだまだもつてくれた3月31日から4月4日、2012年4月にスタートした「ふくしまっ子リフレッシュinせたがや」が久々のお花見を楽しむことができました。コロナ禍で学校まで全国一斉休業になった三年前の春、予定されていた21回目となるはずのリフレッシュ(保養)を諦めざるを得ませんでした。2011年の3・11から「ふくしまっ子リフレッシュ」の活動を開始してから11年を振り返ってみたいと思います。



羽根木プレーパークで福島と世田谷が大集合

福島で作られた電気を使う私たち

2011年3月の東日本大震災、そしてそれに伴う福島原発事故は、東京に暮らす私たちにも大きな衝撃を与えました。とりわけ、福島第一原発が引き起こした放射能汚染は、子どもを持つ親たちにとって他人事とは思えないことでした。たまたまその地に暮らしているだけに、防ぎようのない災害を受けるという不条理。「世田谷こどもいのちのネットワーク」が主宰した、環境活動家の田中優たなかゆうさんによる講演会「こどもたちの未来に向けて私たちにできること」、そしてグリーンピース・ジャパンによる「海と魚の放射能汚染を考える」には、本当のことを知りたいと、子連れの親たちがたくさん集まりました。福島原発で作られた電気を使っている私たちも、いわれない災害を受けた子どもたちに対して責任があるのではないかと、何かできる

ことはないだろうか？ 講演会のあとの相談会で提案されたのは、福島の子もたちを、少しでも放射能汚染が少ない世田谷に招待して、外遊びを楽しんでもらおう、ということでした。

区内のさまざまなちからが結集

そして、2012年1月にすでに区内にある市民運動や子ども・教育に関わるさまざまなかグループ、3・11以後区内に誕生した若い親たちのグループなどが集まり、「福島の子もたち」ともに「世田谷の会」が誕生したので、意志や気持ちはあふれていても、子どもたちを受け入れる場所やお金はまったくありません。そこで手を差し伸べてくれたのが、世田谷区。共催することを引き受けてくれたのはビックリするやらうれしいやら。共催となった世田谷区と世田谷区教育委員会は、宿舎、そしてボランティアとカン

パを呼びかけるチラシを区内の小中学校、保育園の親たちに配布してくれる手段を提供してくれました。世田谷ボランティア協会は、福島と世田谷の往復にボランティアバスを提供し、社会福祉協議会は、以後3月にはこの活動に使うための街頭募金を行ってくれるなど、区内の官民を問わぬさまざまな組織や個人が参加する「福島っ子支援」の仕組みができていきま



砧公園での夜桜歓迎会

コロナ禍を経て、再開したリフレッシュ

2017年までは、春、夏、冬の長期休みに実施してきましたが、その後は保養の実施団体の少ない春と冬に集中することになりました。そして2019年冬に20回目のリフレッシュを行ってから、コロナ禍によるまさかの中止が続き、しばし延期。2022年冬、PCR検査など万全な準備をして、恐る恐る三泊四日、常宿である大蔵第二運動場に5家族を招き再開しました。多くはないスタッフも年を重ね、「できる範囲で」が合言葉のようでした。久しぶりの福島の家族たちとの再会は、私たちのこの活動への原点をもう一度見つめ直すものとなりました。決して福島は終わってはいないし終わらせてはいけない、どの思いから、この春には四泊五日に実施。桜もお天気も申し分なく6大家族が世田谷に帰ってきました。

初日は砧公園での「夜桜歓迎会」。芝生に大きく広がる桜の下で福島家族、スタッフ、ボランティアの方々がお弁当を食べながら再会を喜びました。

翌日は、二グループに分かれての世田谷区内オプショナルツアー。魅力ある世田谷をもっと知ってほしい、とこれまでも可能な限り企画してきました。一日乗車を駆使しての「世田谷線ツアー」では、乗り降りしながら、キヤロットタワー、松陰神社、豪徳寺などを巡り、オシャレなラン



野川の探索に子どもたちは夢中

チも楽しみました。今回初めての「野川」探索は、川に足をつつこんで濡れながら楽しんだ子どもたち、川原でおしゃべりする親たち。世田谷にはまだまだ大切にしたい自然が残っているということ、こういう活動を通じて、世田谷人たちも知ることができました。

羽根木プレーパークは

リフレッシュのかなめ

一日羽根木のプレーパークで遊ぶお楽しみはリフレッシュの目玉です。泥んこになっても転んでも、好きなように遊んでいいプレーパークが子どもたちは大好き。3・11以後、福島の子どもたちは、土を触ることや、枯れ葉やさくらの花びらを掬うのはだめ、と言われ、世田谷でも親の顔をうかがいながら「触っていいの?」と訊いていました。「いいのよ」と答えるお母さんは涙を浮かべていました。何度も来ているこどもたち

は、ターザンロープや廃材の滑り台など、遊び慣れたものです。傍らでは、世田谷と福島のお母さんたちがお昼ごはんの用意。かまどを使い、おかまでご飯を炊き、前日から玉ねぎを炒めて用意した牛すじカレーの中にセロリやニンジンをすりおろして入れていきます。プレーパークの世話人である世田谷の母たちは本当に心強いふくし



羽根木プレーパークで、遊ぼうパンづくり

まつこの味方です。

ランチのあとは、パン種をこねて、竹の棒の先につけて焚火で焼く「遊ぼうパン」。いいきつね色に焼けたパンの中にソーセイジや手作りのジャムを詰めて、フーフーしながら食べます。夜は「お別れお茶け会」。お酒も入り、語り合う会はとても貴重なものです。最終日は名残惜しい砧公園で。短かったね、また会おうね、としばしの別れを告げました。

世田谷は第二のふるさと

今回のリフレッシュへの参加者はほとんどがリピーターでした。何度も世田谷に足を運ぶ中で、世田谷を「第二の故郷」のように感じています。7年前に初めて参加した相楽さんの子どもたちは当時小学生だったけど、今は高3と中3。「抽選で当たると、「やったあ!」と今も喜んでいきます。保養によって子どもたちは成長したよ

うです。ボランティアさんと遊んだ経験から、自分でボランティア講座に参加したりするようにになりました。小さい子とここで触れ合ったことが生きているんですよ」。

佐藤さんは「もう10回以上でしようか。子どもたちは小さい時から知っているじいちゃん、ばあちゃんに会いにくる感じみたいですよ。居心地がよく、話を聴いてもらえる、というのがこのいいところかな」と語ります。12年前になぜすぐに避難しなかったのか、自問することもあるといいます。福島では『まだ気にしているの?』と言われるので、保養に行くことを周りには話さないという佐藤さんは、それでも甲状腺への影響が心配しています。世田谷に來ると、小児甲状腺がんについて臨床医の立場から発言し、診察している牛山元美先生の相模原の病院にオプシオンで行っていました。「福島では検査はするけれど、大丈夫

ですよ、という前提があり、自然界にも放射能はあるのだから」と。相楽さんも「甲状腺検査のメリット、デメリットについて、という冊子が配られたのですが、検査をすることで要らぬ心配をすることをデメリットとしていて、まるで検査はしない方がいい、と言われるようですよ」と疑問を感じています。汚染水の海への放出についても、意図的に「問題なし」とするような実験なども行われているとも。

福島はけっして終わってはいない

12年経って、福島のこととは忘れさせられているかのようです。子どものことが心配、大気や海水の汚染が気になる、そういう人たちもなかなか声を上げにくいのが現状。たくさんあった保養のグループも、活動を維持していくための資金もなくなり、だんだんに撤退していきます。

「どうしていまだにそういう活動を続けているの?」と訊ねられることもしばしば。メディアでも伝えられることが少なくなった福島状況を、福島家族から聞いてきた私たちは「福島は終わっていない」と断言できます。終わらせてはならないと。福島の子どもたちはあの時、全員が犠牲者でした。本来なら、保養は国レベルで全員にさせるべきだったのです。チエルノブイリの経験は、年に22日間、放射線の少ないところに行くことで、体内の放射線量が減ることを示しています。あの時、日本のどこに起きても不思議ではなかった事故の影響をたまたま被った福島の子どもたちには、保養をする「当然の権利がある」と思います。そのためにも、そして私たちが決してあのことを忘れないように、世田谷の会では「ふくしまっ子リフレッシュ」を出来る限り続けていきたいと思っています。

(文責／編集委員 星野 弥生)



"正しいサポート"より
"楽しいサポート"
みつけばハウス

まちの 市民力!!

取材・中部 香世

●
街の中で地域やそこで暮らす
人たちと一緒に活動している
団体を紹介します



梅ヶ丘にある「みつけばハウス」は、発達障害などの凸凹があり、居場所を見つけづらい若者（おおむね15〜25歳）が集まり、自分の好きなことややりたいことを見つける場です。出入り自由、何をしてもよいというサロン（予約制）があるほか、様々なワークショップ（利用登録制）が毎日のように開かれます。ワークショップの講師は、その道のプロなども。利用者が好きなことを見つめるお手伝いをします。

ある土曜日、「はじめてのプログラミング体験」というワークショップが開かれました。講師を務めるのは、大手IT企業に勤務する渡邊大輔さん。5名の参加者

は、渡邊さんの指導に従ってパソコンを操作し、無事ゲームを作り上げました。ほかにも美術、ダンス、文学、歴史など、いろいろな分野のワークショップがあり、利用者は自分の興味のあるものを選んで参加することができます。

みつけばハウスで利用者のサポートをするのは、「ぴあサポーター」と呼ばれるスタッフたちです。「ぴあ」とは同じような境遇の人、仲間といった意味を持ちますが、いわば同じように悩んでいた先輩当事者たち。ぴあサポーターの一人で、自身も引きこもっていた経験を持つという坂本恵美さんは、楽しく仕事をしていると話す一方で、時には辛いこと、悩

むこともあると言います。しかし、そんな悩みも次の利用者へのびあサポートに活かす材料になること。みつけばハウスは、利用者だけではなくスタッフの生きがいにつながる場所にもなっていると感じました。

「みつけばは沼ではなく川でありたい」と、代表の尾崎ミオさんは話します。「孤立しないためにも、みつけばハウスを利用し、自分の好きなことにとことん取り組んでほしい。でも、ここにとどまるのではなく、あくまでも次に流れていくための通過点であれ」というのが、スタッフみんなの願いです。みつけばハウスをステップにして、自分の道を見つけて次に進む若者が増えてほしいと、心から思った取材でした。

▼みつけばハウス

住所／世田谷区松原6・41・12

電話／6379・1236

（火曜〜土曜 11時〜18時）



みつけばハウスは、facebook, instagram, twitterを開設しています。インターネットで「みつけばハウス」と検索してください。

世田谷ボランティア協会の取り組み

トルコ南東部地震 緊急支援募金活動報告

世田谷ボランティア協会は、2019年の台風被害時に活動協力を受けた二子玉川郷土史会からトルコ南東部地震への支援募金をしたいとの申し入れを受け、同会主催の街頭募金活動について運営指導と協力を行いました。

【活動場所】二子玉川駅前

【活動日】3月4日(土)・5日(日)

【活動参加】二子玉川郷土史会メンバー、地元町会関係者、協会関係者、ボイスカウトの皆さんなど

2日間で、皆さまのご支援ご協力により多くの募金が寄せられました。心より感謝申し上げます。

◆募金額(2日間合計)

- ・二子玉川駅前街頭募金 479,271円
- ・その他 7,929円

お寄せいただいた支援金は全額「駐日トルコ大使館」と「国境なき医師団 緊急チーム」へ寄付されました。



トルコ南東部地震支援募金 たくさんのご支援をありがとうございました!

二子玉川郷土史会

協力：社会福祉法人 世田谷ボランティア協会



中学生に ボランティアセミナーを実施しました

世田谷区立松沢中学校の1年生3クラスを対象に、3月17日(金)にボランティアセミナーを実施しました。

前半は、ボランティアセンター職員より地域のボランティア活動や活動の始め方などの講話を行い、後半では、現在ボランティア活動を行う学生からの体験談を話してもらいました。生徒の皆さんは、多種多様なボランティア活動に興味津々!「ボランティアをやってみたい」「自分の得意なことから始めてみたい」といった感想を聞くことができました。

ボランティアセンターでは、若いボランティアの育成を目的としてボランティア学習事業にも力を入れており、学校での授業協力や、夏にはボランティア体験プログラム「ナツボラ」も実施予定です。



一緒に授業を行った学生団体さん

- ・学生団体ユリス
- ・明治大学しいの実
- ・明治大学さずな International



協会職員と学生団体のみなさんと保護者の方で記念撮影

ご相談ください

個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをおつなぎする橋渡しをしています。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、人と会ったり、集まったりすることが難しい状況ではあります。が、困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できる

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生〜高校生の個別の学習支援に取り組みボランティアを探して紹介しています。現在は、新型コロナウイルス感染症防止のため、オンラインでの学

のかわからないという方は、ご相談ください。

電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか一緒に考えます。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター
TEL 57112・5101

習支援にも対応しています。勉強への気持ちや、学習ポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっています。お気軽にご相談ください。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 高居・原口
TEL 57112・5101
takai@otagatsama.or.jp

ボランティア求む

東 視覚障害者の生活を応援して下さる方募集

世田谷区松原に住む、視覚障害者の母娘がさまざまな方を求めています。

- ①DIYが得意な人
- ②公的サービス以外で必要に応じて手伝いをしてくれる人
- ③昨年栃木県で台風15号で被災し心のケアを求めています。話を聞いてくれ、こちらの気持ちがかかる人
- ④一緒に街中を歩いてくれるガイドヘルパーのような人
- ⑤裁縫のできる、ボタン付けや少

●問合せ／北沢ボランティアピュ
ロー 担当 中里
TEL 3420・2520
kitaorai@otagatsama.or.jp

しのほつれを直してくれる人。

ゆくゆくはサポートチームのような体制を考えています。たくさんの人と関わってほしいです。お二人の生活を応援してください。詳細はお問い合わせください。

●場所／自宅（松原6丁目）及び周辺

●問合せ／北沢ボランティアピュ
ロー 担当 中里
TEL 3420・2520
kitaorai@otagatsama.or.jp

京 放課後等デイサービス施設でボランティア募集

粕谷区民センター近くの「放課後等デイサービス凸凹kidsすべいす」に通所してくる子どもと一緒に遊んだり、宿題をみてくれるボランティアの方を募集しています。詳細は、お問い合わせください。

●日時／月〜金曜の14時〜19時
(曜日は要相談)

●場所／粕谷4・13・16
●交通／千歳烏山駅徒歩10分
●条件／18歳以上の方
●問合せ／一般社団法人凸凹kidsすべいす
TEL 5314・9876
(10時〜19時の間)
space@decoboo-kids.jp

東 高3男子の学習支援ボランティア募集

等々力にある児童福祉施設で高校3年生の男子が学習支援を必要としています。カードゲームやウォンピースなどのアニメが好きなお子で、寄り添いながら一緒に取り組んでもらえる理系の大学生を探しています。支援してもらいたい教科は数学・理科・英語で、本人がその日やりたいものを学習します。本人のペースでかかわってください。ご連絡をお待ちしております。

●日時／火、木の週2回。19〜21時の間に1〜2時間程度。(週1回でも可、ご相談下さい)

●場所／等々力にある児童福祉施設

●条件／理系の大学生・大学院生
交通費支給

●問合せ／玉川ボランティアビュー
一口ー

TEL 3707-3528
tamabor@otagaisama.or.jp

東 学校に行くことが苦手な女の子と一緒に過ごしてくれるお姉さん募集

学校に行くことが苦手な女の子が平日は高校へ行かず室内で過ごしており、一緒に過ごしてくれるお姉さんを探しています。話すことが大好きな明るい女の子で、寄り添って話を聴いてくれる方を希望します。プリキュアやアイカツが好きなアニメの話をお聴いてくれたり、UNO・トランプなどをして遊んで頂けたらうれしいです。詳しくはお問合せください。

●日時／平日10時から17時の間に1〜2時間(曜日・時間は応相談、月2回からでも可)

●場所／世田谷区荻巻

●条件／女性(子どもが好きな大学生くらいのお姉さん)、交通費支給(上限あり)

●問合せ／玉川ボランティアビュー
一口ー

TEL 3707-3528
tamabor@otagaisama.or.jp

東 急募！ いっしょに勉強をしてくれる女性求む

等々力近辺にお住いの小学校低学年の女の子が、平日の放課後や週末に、一緒に宿題をしてくれる方を探しています。学習がゆつくりめで、音読や計算に時間がかかります。そばに寄り添って、女の子のペースに合わせて教えてあげてください。お人形遊びが好きで、明るくて活発な女の子です。子ども好きで、一緒に勉強をして

くれる方、お待ちしております。

●日時／平日放課後。土日。時間応相談。週1回から

●場所／自宅

●条件／女性、交通費応相談

●問合せ／玉川ボランティアビュー
一口ー

TEL 3707-3528
tamabor@otagaisama.or.jp

東 外国人への日本語学習支援ボランティア募集

JICA千歳船橋は、地域に暮らしている外国人の方々に日本語学習を支援し、更には交流によりお互いの文化や生活への理解を深め、共に学習し合える場となることを目指しております。特に資格は問いませんが1年以上在籍可能な方を募集しています。詳細はお問い合わせください。

●場所／世田谷ボランティアセンター1階会議室

●交通／三軒茶屋駅徒歩12分

●条件／特に資格は問いませんが1年以上在籍可能な方

●問合せ／JICA千歳船橋火曜日クラス

080-5064-1651
sakumach15@gmail.com
<https://ja-chitosefunabashi.jmdo.com/>

●日時／毎週火曜日10時〜11時半

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。

有償スタッフ募集

小 障害者通所施設の調理スタッフ募集

障害者通所施設の東北沢つどいの家で、給食調理スタッフを募集しております。工場で調理されたメニューを湯煎し盛り付ける、味噌汁調理、炊飯という作業で、包丁を使用して調理する作業はありません。調理が苦手な方でも大丈夫です！温かい給食提供で、通所利用者様を支えて下さる方へご連絡お待ちしております。

●日時／毎週土曜日10時～14時（週1日）

小 女性の介助者募集

世田谷区桜丘で1人暮らしをしている女性を介助して下さる方を募集します。女性は一人で外出したり、食事をすることができません。笑い上戸でツボに入ると止まりません。路上アーティストのライブにも一緒に行ってもらえるとうれしいです。介助内容は着替え、食事、トイレ、外出、その他身辺介助です。

1日2交代シフト制で9時～18時、18時～翌朝9時で、月1回からでも大丈夫です。日中希望者大

講座・その他・募集

小 活動40年、みんなであそぼう布おもちゃ展

TOY工房とんぐりは代田ボランティアビュローで発足して40年、障がい児のための布おもちゃを手作りしてきました。今は、北沢ボランティアビュローで活動しています。どなたでも、手に取って遊んでいただける展示会を開催します。ぜひ、お立ち寄り下さい。

●日時／5月10日(水)～16日(火) 12時～16時、但し14日(日)は休み

- 場所／世田谷代田仁慈保育園ミニユニティスペース Plaza (世田谷代田2-32-16)
- 交通／世田谷代田駅徒歩3分
- 参加費／無料
- 問合せ／TOY工房とんぐり 担当 河村
toydonguri@gmail.com
http://toy-donguri.net

Aーシステムによるマッチングサイトのお知らせ

「趣味や技術、経験を生かしたい」「地域で活動したい」という、ボランティア活動をしたい方の経験や意欲などと、サポートを求める方や団体などを、東京大学先端科学技術研究センターが開発したAーシステムによるマッチングサイト(世田谷版GBER)で結び付け、ボランティア活動を支援します。

詳細は左記QRコードからご覧ください。



東 サポートを求めている 子どもに寄り添うボランティア養成講座（全3回）

世田谷ボランティア協会には、日頃より学習支援や遊び相手など、子どものサポートを求める相談が寄せられています。この講座では、子どもの特性や成長に寄り添いながらサポートするボランティアを養成します。基礎からやさしく学べる講座です。

子どもと関わるときのポイント、発達障害、知的障害について一から学べる講座です。
※事前申込制です。

●日時／5月18日、25日、6月1日（毎週木）13時半～16時

東 災害ボランティアコーディネーター養成講座（基礎編） @昭和女子大学

2023年度1回目となる「災害ボランティアコーディネーター養成講座基礎編」を昭和女子大学にて開催します！内容は講義・模擬訓練、世田谷区の災害対策、災害ボランティアの活動内容（世田谷方式）等学びます。

●日時／6月10日（土）13時30分～16時30分※13時より受付開始
●会場／昭和女子大学1号館4階（世田谷区太子堂1-7-57）

●場所／玉川ボランティアビュー
ロ

●交通／二子玉川駅徒歩5分

●参加費／700円（資料代）

●条件／電話・FAX、メールは件名「子どもボラ講座申込」で

①氏名②住所③連絡先④年齢

⑤何を見てを記載

※4月15日から受付開始中

●問合せ／玉川ボランティアビュー

TEL 3707・3528

tambora@otagaisama.or.jp

●交通／三軒茶屋駅徒歩7分

●参加費／無料

●申込／5月2日（火）～6月8日（木）までに、せたがや災害

ボランティアセンターHP内の専用フォーム、またはメールか

電話にてお申し込みください。

●問合せ／せたがや災害ボランティアセンター

TEL 5712・5101

saigai-info@otagaisama.or.jp

saigai-info@otagaisama.or.jp

ミニレポート

下馬福祉工房 20周年フェス開催！

世田谷ボランティア協会の本部と同じ建物であるパーム下馬の2階に入っている下馬福祉工房が開所20年を迎える節目の年ということで、3月10日（金）に北沢タウンホールでフェスが開催されました。

利用者さんの歌あり踊りあり、一芸もありの盛りだくさんなプログラムであつという間の2時間！そして最後は、下馬福祉工房恒例の「しもまるくん くりだそう」をみんなで踊る、とても素敵な時間でした。

フェスの運営には、職員さんだけでなく家族会の方や日頃からボランティアに来ている方々の姿も。沢山の方に愛され、支えられている施設でもあります。

下馬福祉工房のモットーは「楽しく働く」、これからも一緒にパーム下馬から下馬地域を盛り上げていきたいと思ひます。



下馬福祉工房20周年フェス



世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 北沢ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058
- 烏山ボランティアビューロー 〒157-0065 上祖師谷1-11-14 TEL (6909)0333 FAX (6909)0355
- 砧ボランティアビューロー準備室 〒157-0066 成城6-3-10 TEL (6411)4007 FAX (6411)5888

●日ごろの備えが災害時の力になる●

- せたがや災害ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811

●いのちを大切にするとところ「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障害にとまなう「困った!」を話せるところ●

- 地域障害者相談支援センター ぽーとせたがや 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋 2F TEL (6804)0405
- スペースココカラ。(ぽーとせたがや・パートナーセンター) 〒154-0002 太子堂4-26-9 TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ!

◆センター&ビューローより

5月には「サポートを求めている子どもに寄り添うボランティア養成講座(全3回)」、6月には「災害ボランティアコーディネーター養成講座(基礎編)@昭和女子大学」があります。申込みなどはP.11に。

◆ふらっと& with より

漸く、ケアセンターふらっとのメンバーにも日常が少しずつ戻ってきています。若葉も生い茂り始める5月、日々風を感じに外へとりハビリに励みます。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます! 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

◆チャイルドラインより

5月25日から「せたがやチャイルドライン公開講座」が始まります。まだ申し込みの受付をしていますので、世田谷ボランティア協会のホームページをご確認ください。

編集
後記

■ふくしまつりリフレッシュの活動が、以前のような姿を取り戻してきていることはとても嬉しいことです。約3年、思うように人と会うことができなかつたけど、文章と写真からも再開を喜びあったのが伝わってきます。

■中学生にボランティアセミナーを実施し、私もコーディネーターとしてお話しさせて頂きました。ボランティアに興味を持ったなど多くの感想があり、いろいろな学校でもお話しできたらと思っています!(近藤)

- 発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ
<https://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人
横山 康博

